

—『誰ひとり取り残さない支援』を実現するため  
地域住民一人ひとりがこれからの地域共生社会を考える—

★★★ 未来の大淀町を

ALL OYODO

で考えるシンポジウム

いま、人口の急減、少子高齢化、地域経済の縮小など、地域社会が変容し、地域住民が抱える課題も多様化・複雑化している中、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共につくりつづけていく「地域共生社会」の実現が目指されています。

本シンポジウムでは、次世代を担う中学生、高校生からの思いや意見を起点とし、中高生が描く未来図を全住民で共有するとともに、**ALL OYODO** で未来において住み続けられる地域共生社会のまち大淀町を実現することを目的に「地域包括ケアシステムから地域共生社会を実現するシンポジウム（未来会議）」を開催します。

令和5年3月25日（土）

会場：大淀町文化会館  
あらかしホール 他

- ・ロビーイベント  
12時30分スタート
- ・ホールイベント  
開場：13時  
開演：13時30分



ライブでも  
視聴できる  
ペアあ〜

次世代を担う中高生による発表

テーマ：「このまちで暮らし続けるために  
感じることも求めること」

- ・町立大淀中学校生徒代表者 2名
- ・県立奈良南高校生徒代表者 2名

◆ロビーイベント紹介（13時30分まで）

- 次世代を担う町内中学校及び町内県立高校の生徒へのアンケート結果の展示
- “大淀町の昔と今” まちの風景写真の展示
- 中学校・高校の子どもたちの活動写真の展示
- 地域活動団体の作品及び活動写真の展示

基調講演



小村 真央（こむら まお）

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課  
地域共生社会推進室 課長補佐

「地域で共に暮らせるまちづくり」

特別講演



宮口 英樹（みやぐち ひでき）

広島大学大学院 医系科学研究科 教授

「誰一人取り残さない、  
まちぐるみによる子どもの発達支援」

シンポジウム

「このまちで暮らし続けるための未来会議」

- コーディネーター  
宮口英樹 / 広島大学大学院 医系科学研究科 教授
- アドバイザー  
小村真央 / 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課  
地域共生社会推進室 課長補佐
- シンポジスト  
辰己一彦 / 一般社団法人 奈良県作業療法士会 理事  
宮本賢太郎 / 社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会 事務局長  
廣見敦志 / 大淀町役場 教育委員会 教育長  
山中啓嗣 / 大淀町役場 住民福祉部長

【※敬称略】

主催：大淀町

お問い合わせ先：大淀町 福祉介護課 〒638-8501 大淀町桧垣本2090番地 ☎ 0747-52-5513（直通）